

科名 血液内科 血123
 対象疾患名 移植前処置
 プロトコール名 FL/IV-BU/ATG

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0
1	点滴注	側管	フルダラ注 生理食塩液	30mg/m ² 100mL	60分かけて							
2	点滴注	側管	ブスルフェクス ¹ 生理食塩液or 5%ブドウ糖	0.8mg/Kg/回 ブスルフェクスの 10倍量	1日4回 2時間かけて							
3	点滴注	側管	サイモグロブリン注 ² 生理食塩液	2.5mg/Kg 500mL	6~12時間 かけて							

~ MEMO ~

適正体重補正:本プロトコールは、reduced intensity conditioning(RIC)であり、体重補正を行い、投薬量を調節する。

各薬剤の上限投与量 理想体重×120%

1 痙攣予防にフェニトインを投与すること(day - 9 ~ day 0)

アレピアチン 200~300mg/日 分2または分3

2 HLA一致の血縁ドナーの場合はサイモグロブリンは投与しない。

・試験投与:

1Vを注射水5mLに溶解し、このうち0.5mLを生食100mLに希釈して1時間以上かけて点滴静注

・アナフィラキシー予防:

投与1時間前 ソルコーテフ 100mg静注、ポララミン2mg内服

途中アレルギー症状あれば再度追加